

# 蔵王町まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成 27 年 11 月

蔵 王 町

# 目次

<b>第1章 基本的考え方</b> .....	1
1. 総合戦略の位置づけ .....	1
2. 対象期間 .....	3
<b>第2章 基本目標と施策の方向</b> .....	3
1. 目標設定 .....	3
2. 基本目標 .....	4
3. 施策の基本的方向と主な施策、数値目標 .....	5
基本目標1：安定した雇用を創出する .....	5
数値目標 .....	5
基本的方向 .....	5
具体的施策と重要業績評価指標（KPI） .....	5
基本目標2：蔵王町への新しい人の流れをつくる .....	8
数値目標 .....	8
基本的方向 .....	8
具体的施策と重要業績評価指標（KPI） .....	9
基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる .....	10
数値目標 .....	10
基本的方向 .....	10
具体的施策と重要業績評価指標（KPI） .....	10
基本目標4：時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る .....	12
数値目標 .....	12
基本的方向 .....	13
具体的施策と重要業績評価指標（KPI） .....	13
<b>第3章 事業の推進体制</b> .....	15

# 第1章 基本的考え方

## 1. 総合戦略の位置づけ

「蔵王町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」という。）は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、本町における人口の現状と将来の展望を示す「蔵王町人口ビジョン」を踏まえ、今後5年間（平成27年度（2015年度）～平成31年度（2019年度））のまち・ひと・しごとの創生のための目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめるものです。

この総合戦略は、国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び宮城県が策定した「宮城県地方創生総合戦略」の基本的な考え方や基本方針等を踏まえ、第四次蔵王町長期総合計画「後期基本計画」との整合性を図ったうえで策定しています。

（図1）

### ■国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方と政策5原則（抜粋）

#### 1 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方

##### （1）人口減少と地域経済縮小の克服

- ・本格的な人口減少時代の到来、地方と東京圏の経済格差による人口の一極集中
- ・地域経済の縮小により、人口の一極集中と地方人口減少に拍車がかかる。
- ・地方における負のスパイラルの解消、人口減少を克服し地方創生

①東京一極集中を是正する。

②若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する。

③地域の特性に即して地域課題を解決する。

##### （2）まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

- ・地域経済の活性化、産業の高付加価値等による「しごとの創生」
- ・地方就労の促進や移住定住促進等による「ひとの創生」
- ・安心できる暮らしの確保や都市のコンパクト化、広域連携等による「まちの創生」

#### 2 「まち・ひと・しごと創生」政策5原則

##### （1）自立性

各施策、構造的な問題に対処し、地方公共団体等の自立につながるようにする。

(2) 将来性

地方が自主的かつ主体的に、前向きに取り組むことを支援する施策に重点を置く。

(3) 地域性

各地域の実態に合った施策を支援することとし、各地域は客観的データに基づき実状分析や将来予測を行い、「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、同戦略に沿った施策を実施できる枠組みを整備する。

(4) 直接性

限られた財源や時間の中で、最大限の成果を上げるため、施策を集中的に実施する。住民代表・産官学金労の連携を促すことにより、政策の効果をより高める工夫を行う。

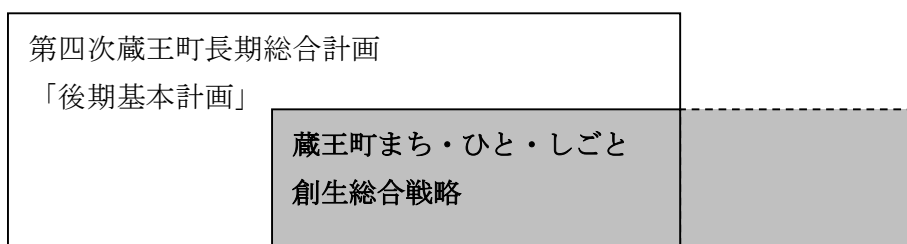
(5) 結果重視

明確なPDCAメカニズムの下に、短期・中期の具体的な数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善等を行う。

■ 「宮城県地方創生総合戦略」の2060年の遠方目標（抜粋）

- 1 地域経済を支える産業がそれぞれの地域で栄え、「質の高い雇用」機会が多く生み出されている社会を実現
- 2 時代を担う子どもたちが健やかに育つことができ、生涯現役で安心して暮らせる活力に満ち、豊かさを実感できる社会を実現
- 3 安全・安心なくらしが守られ、豊かな地域資源やエネルギーを活用し、安定した地域社会を実現

■ 図1 第四次蔵王町長期総合計画「後期基本計画」と「蔵王町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の関係図



## 2. 対象期間

対象期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間とします。

# 第2章 基本目標と施策の方向

## 1. 目標設定

国の「総合戦略」では、政策の「基本目標」を明確に設定し、それに基づき適切な施策を内容とする「政策パッケージ」を提示するとともに、政策の進捗状況について重要業績評価指標（KPI<sup>※1</sup>）で検証し、改善する仕組み（PDCA<sup>※2</sup>サイクル）を確立しています。

本町で策定する「総合戦略」で示す政策の「基本目標」について、「蔵王町人口ビジョン」を踏まえ、「総合戦略」の目標年次である平成31（2019）年度に実現すべき成果に係る数値目標を設定します。

また、政策分野ごとに講ずべき施策の基本的方向と具体的施策を記載し、各施策の効果を客観的に検証できる指標〈重要業績評価指標（KPI）〉を設定することとします。

※1 KPI：Key Performance Indicators の略。重要業績評価指標。政策ごとの達成すべき成果目標

※2 PDCA：PLAN（計画）、DO（実施）、CHECK（評価）、ACTION（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと

### 「蔵王町人口ビジョン」の目指すべき将来の方向（2060年の遠方目標）

1. 蔵王が持つ自然の恵み、自然の豊かさを活かしたこれからの時代にふさわしい新たな雇用・安定した雇用が生み出される町を実現
2. 蔵王町に暮らすことに誇りと希望が持てる町を実現
3. 若い世代の結婚・出産・子育てに対する切れ目のない支援と、地域で子育てを支える町を実現
4. 町民が安心して住める町・町外の人が期待感を持って来訪できる魅力ある町を実現

## 2. 基本目標

蔵王町が目指すべき将来の方向（2060年の遠方目標）の実現に向けて、次の4つを今後5年間の基本目標に掲げ、まちの創生、ひとの創生、しごとの創生を着実に進めていきます。

### 【基本目標1】 安定した雇用を創出する

雇用者の増加は、若者世代の町内への定着及び町外からの移住を促進していくうえで重要な要因であるとともに、産業の活性化と地域の活力向上につながるものです。

本町の基幹産業である農林畜産業と観光業を融合させた、これからの時代にふさわしい事業が必要です。蔵王が持つ自然の恵み、自然の豊かさを最大限に活かした新たな雇用創出に取り組みます。

### 【基本目標2】 蔵王町への新しい人の流れをつくる

本町はこれまでも定住・U I J ターンを促進してきましたが、さらなる定住・移住の流れを生み出す取り組みが必要です。

本町の魅力の一つは豊富な自然資源であり、その恵まれた環境を守り、磨きながら、まちの魅力の情報発信を行うことが重要です。蔵王町に暮らすことに誇りと希望を持てる魅力的な環境づくりに取り組み、人口の社会減を抑え、新たな人の流れの創出を目指します。

### 【基本目標3】 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

本町は、次世代を担う若年層は地域の活力向上に不可欠であるという考えから「すこやか養育助成金」、「乳幼児紙おむつ券交付」や婚活イベントの開催などをはじめ、各種子育て・結婚支援の施策を積極的に実施してきましたが、今後ともこうした取り組みを継続・発展させると共に、町民や移住を希望する若い世代の方々に、広くPRしていきます。

希望出生率<sup>※</sup>については、本町は1.62となっており、子どもを産み育てやすい環境づくりのため、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援と、地域で子育てを支える仕組みをなお一層充実させ、出生率の上昇を目指します。

※（国民）希望出生率＝（有配偶者割合×夫婦予定子ども数＋独身者割合×独身者のうち結婚希望者×独身者の希望子ども数）×離死別等の影響

#### 【基本目標4】 時代にあった地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る

アンケート調査では、若者世代が町に住み続けるために重要な事項として「公共交通機関の充実」と回答する割合が非常に多い結果となりました。この結果を踏まえ、生活の利便性の向上に向けた取り組みを推進していきます。

また、住民の主体的な地域づくり、災害に強い地域づくりを推進し、共に創るまちづくりを目指します。

### 3. 施策の基本的方向と主な施策、数値目標

#### 〈基本目標1〉安定した雇用を創出する

##### 1. 数値目標

項目	数値目標
企業進出・創業支援・新規就農等による雇用機会の創出数	100人 (H27～H31)

##### 2. 基本的方向

- 農林水産業・商工業の産地づくりを推進するとともに、新たな商品開発や販路の拡大等、地域産業の活性化を図ります。
- 多様な地域資源を観光資源として活用し、蔵王町ならではの観光地域づくりに取り組み、周辺観光地との連携も含めた、交流人口等の増加を図ります。
- 総合的な就業環境の整備に取り組むとともに、働く意欲のある高齢者や障がい者の就業・雇用環境の整備を行い、誰もが活躍できる地域づくりを推進します。

##### 3. 具体的施策と重要業績評価指標（KPI）

###### (1) 地域産業の競争力強化

- ・地域産業の振興
  - ①地産地消の推進

生産者の顔が見える安全・安心な農産物の地産地消に、生産者と観光物産協会や宿泊施設と連携して取り組みます。

②農業生産体制の整備

農業生産規模の拡大と作物の集団化による生産性の向上に努めます。

③苗木新植や施設整備による果樹類の生産性向上、高品位平準化と安定生産による園芸特産品目の産地づくりを推進します。

④飼料作物種子購入の補助や家畜伝染病防疫対策の強化、和牛産地化の推進等、畜産振興を図ります。

⑤野生鳥獣による農作物への被害防止対策を強化し、安定的な生産体制の整備を図ります。

⑥競争力のある農業経営を実現するため、多様な担い手の参入・育成や共同化・法人化、6次産業化などに向けた支援を行います。

⑦生産者側と消費者側の連携を深め、新たな商品の開発や販路開拓等、地場商品の消費拡大を図ります。

⑧農産物需要に的確に対応するため、生産者の組織化を図るとともに、受注・集荷・納品業務を町内企業に委託するなどの流通体制を整備します。

⑨農協等と連携し、生産者・販売者の更なる育成・指導を図り、農畜産物の蔵王ブランド化を推進します。

⑩化学肥料・化学合成農薬の低減、有機肥料等の活用による土づくりの推進など、環境保全型農業の推進を図ります。

⑪児童生徒の農業体験宿泊学習の受入体制を強化するとともに、都市住民への継続的な情報発信を行い、交流人口の増加を図ります。

⑫ふるさと納税制度を積極的に活用し、情報発信の強化や地域産業の活性化を図ります。



- ⑬高齢者や退職者、女性などが農業に従事し、生きがいや所得確保に結びつくよう、関係機関と連携して直売所や農産加工施設等の施設・設備の充実を図ります。

・ **新たな創業・進出企業に対する支援の充実**

- ①創業者への支援相談窓口を設置し、創業支援体制の強化を図ります。
- ②事業所の新設又は増設を行う企業に対する奨励措置を継続します。

(2) **観光地域づくりの推進**

- ・蔵王の魅力を活かした個性ある旅行商品の造成やイベント開催による交流人口の拡大を目指します。
- ・農畜産物や物産品等を販売する機会を創出し、地場産業の育成を図るとともに、魅力ある観光地づくりを進めます。
- ・遠刈田伝統こけし技術継承のため、後継者の育成を図ります。
- ・周辺市町等との相互連携を図り、広域観光ルートの形成を図ります。
- ・携帯電話やスマートフォン等を活用した新たなPR方法を検討し、情報発信の強化を図ります。
- ・観光に携わる各種団体の指導・育成、観光物産協会の法人化移行支援等、観光振興体制の充実強化を図ります。
- ・町内の主要道路において、「花いっぱい運動」を展開する等、地域の緑化・美化に官民協働で取り組みます。

(3) **人材還流・人材育成及び雇用対策**

- ・高齢者等の趣味などを活かして、生涯活躍できる環境づくりを支援し、生きがい対策の充実を図ります。
- ・社会福祉法人と連携し、障がい者の就職活動を支える就労訓練の場の確保や、相談・指導体制の充実を図ります。

## 【重要業績評価指標（KPI）】

重要業績評価指標(KPI)	現況値	目標(H31)
蔵王ブランド農産物（米・梨）生産量	1 t (H26)	15 t
農地集約化率	48 % (H26)	57 %
体験交流人口	1,000人 (H26)	1,500人
ふるさと納税寄付件数	67件 (H26)	200件
創業支援件数	0件	5件 (H27～H31)
観光客入込数	177万人 (H26)	200万人
就労移行支援人数	6人 (H26)	40人

## 〈基本目標2〉蔵王町への新しい人の流れをつくる

### 1. 数値目標

項目	数値目標
年間転入者数	400人 (H26 378人)

### 2. 基本的方向

- 定住希望者の拡大を目指し、移住・定住支援策の充実を図るとともに、情報の発信に努めます。
- 町を活性化させる人材の育成と定着を図るため、教育環境の更なる整備を推進します。

### 3. 具体的施策と重要業績評価指標（KPI）

#### (1) 移住・定住の推進

- ・蔵王町への移住者の拡大を目指し、空き家等を活用した移住者支援の充実を図ります。
- ・地図情報システムを活用した、よりきめ細かな空き家情報の提供に努めます。
- ・蔵王町別荘協議会と連携し、移住希望者への情報提供の強化を図ります。
- ・住宅新築・リフォーム費用助成制度の創設など、移住・定住者の経済的支援を行います。
- ・蔵王高校に新たな学科設置の要望を行うなど、町を活性化させる人材の育成と定着化を推進します。

#### 【重要業績評価指標（KPI）】

重要業績評価指標(KPI)	現況値	目標(H31)
移住希望者への相談対応件数	4件 (H26)	25件 (H27～H31)
空き家情報の提供件数	2件 (H26)	30件 (H27～H31)
移住者への住宅新築・リフォーム費用の助成件数	0件	20件 (H27～H31)

## 〈基本目標3〉若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

### 1. 数値目標

項目	数値目標
合計特殊出生率※	1.5 (H24 1.41)

※ 1人の女性が生涯に産む子どもの数を推計したもの。合計特殊出生率が2.08のとき、人口は増加も減少もしない（人口置換水準）とされる。

### 2. 基本的方向

- 若い世代の結婚に向けた出会いの場の創出や、安心して子どもを産み育てる環境づくりに取り組むことにより、出生者の増加を図ります。
- 地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図り、子育てしやすい環境づくりを進めます。
- 未来を担う子どもたちが、ふるさとに誇りを持ち、いきいきと生活できる環境の整備に取り組みます。

### 3. 具体的施策と重要業績評価指標（KPI）

#### (1) **結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援**

- ・総合的な相談や情報の提供、出会いの場となるイベント開催等による結婚支援に取り組めます。
- ・妊娠を望む夫婦が安心して不妊治療ができるよう、特定不妊治療に対する支援を行います。
- ・乳幼児健診や育児相談を実施し、適切な支援を行うことで、育児不安の解消を図り、産み育てやすい環境づくりに努めます。
- ・食育推進事業を実施し、子どもの健やかな成長と健康な家庭づくりを推進します。

## (2) **子育て支援の充実**

### ・子育て家庭の経済的支援

- ①第3子以降の子どもの出生に対し交付している「すこやか養育助成金」を継続し、拡充を図ります。
- ②1人親世帯等で中学生以上18歳までの児童のいる保護者に、「あったか支援金」の支給を継続していきます。
- ③新生児を養育している保護者に対し、「乳幼児紙おむつ購入券」を継続して交付し、対象物品の拡大を図ります。
- ④乳幼児から中学2年生までのインフルエンザ予防接種費用の一部助成を行うとともに、中学3年生に対しては、費用の全額助成を継続していきます。
- ⑤子ども医療費助成制度の拡充を図ります。
- ⑥第3子以降の幼稚園保育料全額助成制度、保育所保育料の無料化を継続します。

### ・子育て環境の整備

- ①常設の親子が集えるひろばとして、子育て支援センターの整備を図り、子育て親子の交流、子育てに関する相談及び情報提供の充実を図ります。
- ②保育所待機児童0を継続するとともに、保育時間を延長する等、保育サービスの充実を図ります。
- ③児童館における放課後児童クラブの長期休業期間の受入れ時間を早め、利便性の向上を図ります。

## (3) **未来を担うひとづくりの推進**

### ・新たな時代に対応する教育の展開

- ①教育環境向上のため、小中学校の統合を実現し、新たな時代に対応する活力ある学校づくりを推進します。

②小中学生に対し、蔵王の歴史や自然の魅力についての教育を行い、地域の文化や自然を誇りに思う児童・生徒の育成を目指します。

③総合型スポーツクラブの設立等を支援し、地域活性化や青少年の健全育成を進めます。

### 【重要業績評価指標（KPI）】

重要業績評価指標(KPI)	現況値	目標(H31)
婚活イベントの参加人数	20人 (H26)	100人
町内出生者数	70人 (H26)	100人
保育所待機児童数	0人	0人 (継続)
放課後児童クラブ利用者数	80人 (H26)	120人
子育て支援センター利用者数	200人 (H26)	390人

## 〈基本目標4〉時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る

### 1. 数値目標

項目	数値目標
住みやすい町だと思える町民の割合	75% (H27 68.7%)※

※地方創生に関するアンケート調査（H27実施）より

結婚・出産・子育てに関する調査（18～49歳、1,000人対象抽出）

「蔵王町の暮らしやすさについて」の問いに「暮らしやすい」または「どちらかといえば、暮らしやすい」と回答した割合

## 2. 基本的方向

- 地域の特性を活かした地域づくりに取り組む活動を支援し、協働によるまちづくりを推進します。
- 地域公共交通の充実を図り、住みよいまちづくりを目指します。
- 災害関連情報を住民に迅速かつ確実に伝達できる体制を整備し、災害に強いまちづくりを目指します。
- 安全で安心な社会を構築するため、防災・防犯・交通安全などの各種対策の充実を図り、住民が元気に安心して暮らせる地域社会づくりを目指します。

## 3. 具体的施策と重要業績評価指標（K P I）

### （1）**地域づくりの推進**

- ・地域の課題解決や活性化のために、地域が主体となって取り組む活動を支援します。

### （2）**経済・生活圏の形成**

#### ・公共交通の確保

- ①小中学校の統合と合わせて、蔵王町にふさわしい公共交通計画を策定し、地域交通の利便性向上に取り組みます。
- ②J R 東白石駅周辺の歩道橋や駐車場の整備等、周辺環境の向上に向けた整備計画を策定し、環境整備と利便性の向上に努めます。

#### ・再生可能エネルギー等の普及・推進

- ①再生可能エネルギー・省エネルギーの普及・推進を図り、資源循環型社会の形成に取り組みます。

### （3）**安全で安心して暮らせる地域社会の構築**

- ・自主防災組織の設立支援及び防災リーダーの養成を促進します。

- ・防災GIS及び防災サイレン・スピーカ設備等、災害関連情報を地域住民及び観光客等に迅速かつ確実に伝達できる基盤整備に取り組み、防災体制の強化を図ります。
- ・地域における消防団活動に対する理解を促し、消防団員の確保に努めます。
- ・安全で安心な社会を構築するため、公共施設への防犯設備の設置に取り組みます。行政区等に対し、犯罪の防止に配慮した環境づくりのための各種防犯設備の拡充に向けた働きかけを行います。
- ・交通安全・防犯対策の充実のため、交通指導隊・防犯実働隊の隊員確保に努めます。
- ・高齢者の見守り体制の推進、緊急通報システムの設置等、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに努めます。
- ・避難行動要支援者等をはじめとした住民の避難体制の充実を図ります。

### 【重要業績評価指標（KPI）】

重要業績評価指標(KPI)	現況値	目標(H31)
家庭用太陽光発電システム設置件数	114件 (H26まで)	220件 (H31まで)
自主防災組織の組織率	43% (H26)	100%
防災リーダー養成者数	30人 (H26)	100人 (H31まで)
消防団員充足率	94% (H26)	100%
交通指導隊員充足率	83% (H26)	100%
防犯実働隊員充足率	83% (H26)	100%
高齢者見守り協定締結事業所数	1件 (H26)	6件 (H31まで)



## 第3章 事業の推進体制

蔵王町では、まち・ひと・しごと創生のための施策の全庁的推進を図るため、「蔵王町まち・ひと・しごと創生推進本部」を設置しています。この体制のもと、総合的な施策の推進を図ります。

総合戦略の各施策は、蔵王町第4次長期総合計画「後期基本計画」に統合して位置づけ、財政状況等を踏まえながら、毎年度事業の見直しを行っていきます。

また、総合戦略の効果検証については、「蔵王町まち・ひと・しごと創生推進本部」のほか、「蔵王町企画審議会」において行い、必要に応じて総合戦略を改訂することにより、PDCAサイクルを確立していくこととします。